

幼稚園と國防

會長 下村 壽 一

周知の通り、改正國民學校施行規則に於ては、國民科理數科體鍊科等に於て、國防教育を重視すべき趣旨を示してゐる。このことは、新制國民學校以前からも決して闕却されてゐたのではないけれども、實は甚漠然たる嫌があつたのを、皇國使命の重大性愈々加はり、世界の大大勢益々複雑化するに伴ひ、我國教育の一重點とすべきことが確認され、國民學校令施行規則中に判然と明記されることになつたのである。國防重視は獨り國民學校のみではなく、今後改正さるべき中等教育師範教育は固より、大學専門學校に至るまで、教育のあらゆる分野を一貫して實現さるべきである。かゝる次第であるから、幼稚園の保育に於ても、この國家の要望に副ふやうに、十分の用意を以てこの問題を取扱ふことが必要である。勿論、幼兒に國防の意義を理解させたり、國防に關する常識を與へたりすることは、困難でもあり不可能でもあらうけれども、一面現代の國防は國民總力の結集に待つのであつて、幼兒の力も雖も決して度外視さるべきでなく、他面あらゆる教育の根柢を培ふ幼稚園は、幼稚園相應の研究工夫をせねばならず又その餘地は十二分に存することゝ考へる。私は唯兵隊ゴッコや軍艦遊のことだけを申述べてゐるのではない。皇紀二千六百三年の新春に當り、眞劍にこの重要な問題を提起して諸師の御留意を請ふものである。